

これはちよこっど



ひみつで...おもしろ...こわい...うま...



ナゼ
ナク
ナシ
ナク
ナシ
ナク
ナシ

Sample

フクロウは よるの とりです。
よるになると めを おおきく あけて
あたりを みています。
でも ほんとうは フクロウも よるは
ねたいのですが ねむれないわけが
あるのです。
そのわけは なんでしょう…。
おたのしみに…。



むかし むかし そらと だいちは すこししか はなれていませんでした。
とりたちは そらが ひくいので とても こまりました。
ちょっと たかく とぶと “ガツン” “ガチン” あたまも そらに
ぶつけて けがをしたり きをうしなって おちたりしました。



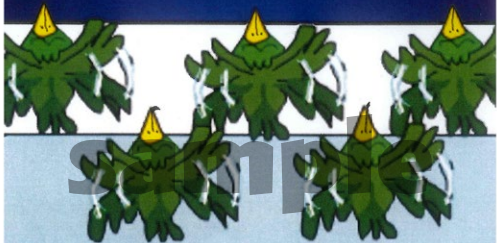
こまった とりたちは そうだんしました。
「あんぜんにとべるには なんとかしないとね～え。」
こたえは ひとつでした。



「みんなの ちからで そらをおしあげよう。」 「そうだね。」 「そうとも。」
「そうしよう。」 「それしかないね。」 みんなが なんとか きゅうくつな
そらを ひろげたい いっしんでした。



いよいよ そらをおしあげるときが やってきました。
とりたちは くちばしで そらを ささえて いっせいに はばたき
はじめました。



そ〜れ がんばれ。
や〜れ おしあげましょう。
ちからを だして おしあげましょう。



とりたちは そらを もちあげることに せいこうしました。
「ばんざ~い。」「そらが ひろくなりました。」
とりたちは おおよろこびしました。
そして ひろくなった おおそらを たかく ひくく とびまわりました。



sample

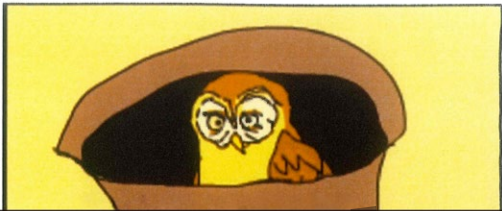
ところが ふしぎなことによるが やってきません。
まいにち ひるばかり。
たいようが ギラギラ かがやいて とりたちは ねむることが
できませんでした。



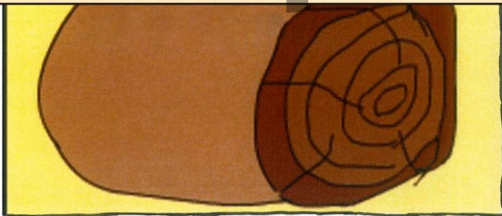
とりたちは みんなが ねぶそくで フラフラに なってしまいました。
「よるは どこへ いったんだろう。」 「よるを さがそうよ。」



でも どこを さがしても よるは みつかりませんでした。
とりたちは よるを みつけたものを じぶんたちの おうさまに
することにしました。



みんなが ちからをあわせて そらを おしあげているとき フクロウは
つぼのなかで やすんでいました。





ところが「おれさまも はいるぞ〜う。」
あおぐろいものが つほのなかにはいつてきたのです。



「だれだい きみは。」「おれさまは よるだ なにか もんくあるか。
ガオ〜オ〜オウ。」 その そのおそろしさといったらありません。
フクロウと コウモリは ブルブル ふるえました。





「そらが ひろがると おれさまの よるの しごとが ふえるのだ～あ。」
「よけいなことを してくれるわい。」
「わしは もうでていって やらないから～な～あ。」

「ちょっと まで!」 「ヒッ!!」 「でていくのは かまわんが おれさまが
ここにいることを だれにも いうなよ!!」
「そりゃあ もう もちろんです。い い いいませんとも。」





つぼから にげだした フクロウと コウモリは「ほっ」としました。
「こら～あ。ふたを しめる～！」よるが つぼのなかから おおごえで
どなりました。





「よるは このつぼのなかさ。」
フクロウは よるの かくれているところを みんなに おしえました。

(しめしめ それなら このわたしが おうさまになったも どうぜんです)



とりたちは つぼをとりにかこんで いました。
「よるさん どうぞ できてください。」 「おねがい。」



しばらくすると つぼが「バリ バリ パッ〜リ〜ン。」と
おとをたてて われました。
「ウオ〜 よくも おれさまの ねているじゃまを したなあ!」



コウモリは つかまりました。
「わあああ……。」「どうか おたすけを。」



「おい おまえが かくればしょを おしえたのであるか！」
「い いいえ。」



「では どのとりなのだ。」 「フ フ フクロウです。」
なに… フクロウだと…。



よるの めが キラリと ひかりました。
「そ そ そうです。とりの おうさまに なれるとって あなたの
いばしょを みなに おしえたのです。」



よるは フクロウを つかまえました。
「ゆるしてください。」



「ならん。おまえは これから よるじゅう ねむらせない。ばつだ。
わかったなあ。」 「は はいっ。」





いまでも よる おきている フクロウは
さびしく かなしいかおを
しているわけが わかりましたね。
にほんから とおい アフリカに
つたわる むかしはなしでした。
よいこの みなさんは
よくばらないで みんなと なかよく
きょうりよく しましょうね。

こんなわけ
よるめを
おきてらるの
だす。
フクロウは
ひららら
す。

いしだえほん No.0026

アフリカのむかしはなし

2018年1月19日 初版発行
2018年6月7日 第2版発行

文・イラスト 戸田忠一

印刷・製本・発行 石田製本株式会社
〒063-0836 北海道札幌市西区発寒16条14丁目3-31
TEL 011-676-4520
<http://i-bb.co.jp/>

©2018 Chūichi Toda / Ishida Bookbinding

※本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化等）並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。
また、本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。
落丁・乱丁はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

ISBN978-4-909377-25-8

石田製本の直販サイト「いしだえほん」にて、
シリアスな物からシュールな物まで、楽しい絵本が続々発売中です！
<http://p-books.jp/ehon/>

ISBN978-4-909377-25-8
C8771 ¥1200E

定価：本体1,200円+税



9784909377258



1928771012000

sample